Voice

学生時代から目指して きた農業コンサル

高校生の時、ペシャワール会の中村哲氏の講演を 聞く機会がありました。「医療の前に水や食料が必 要」と、現地の人と一緒になって砂漠に灌漑の水路 を造り出す姿に感銘を受けました。将来は「食」を テーマに国際協力の仕事がしたいと考え、農学部へ。 実際に作物を育てる経験も積みました。大学では国 際開発コンサルタントの方と話す機会に恵まれ、農 業に強い「三祐コンサルタンツ」の存在を知りまし た。入社を目指し、さらなる専門性を身に付けよう と入った大学院では、農村コミュニティについて研 究。ネットワークがないなか、ゼロから調査を進め るのは大変でしたが、当時の経験は今の仕事に活き ています。調査中、現地の農家の人から「かつて日 本の専門家が灌漑のことを教えてくれた」という言 葉を聞けたことで、国際協力の重要性を肌で実感で

海外事業本部 技術第1部 技術課 技術員

国内事業本部から 海外事業本部へ異動

三祐コンサルタンツ入社

京都大学大学院

九州大学農学部

生物資源環境学科

環境マネジメント専攻

地球環境学舎

農家のリスクを 軽減する保険を普及

干ばつが深刻なエチオピアで「インデックス型農業保険」を普及するプ ロジェクトに携わっています。この保険は、衛星で把握される植生指標が 規定の数値を下回った場合に保険金が支払われる仕組みで、一般的な農業 保険に比べて、支払いが迅速に行われます。農業普及員への研修から販売 までをサポートし、リスクコントロールのために営農技術を高める支援も 続けています。研修では保険・営農マニュアルの作成から実施まで携わり、 保険の効果的な販売活動につながる内容を考えました。参加者の意欲的な 姿に、農家と農村の将来をも担う仕事だと責任を強く感じました。

入社から4年。今は目の前の仕事をこなすのに精いっぱいですが、将来

は国や地域、プロジェク ト全体を俯瞰しながら相 手国にとって真に役立つ プロジェクトを手掛けた いです。

そのために、これまで 以上に現地の人々との信 頼関係を大切にしていき たいと思います。



研修にて各グループがアクションプラ ンを作成する様子









株式会社三祐コンサルタンツ

1962年 資本金:5,977万円

265人(2019年12月現在)

愛知県名古屋市 計 海外拠点:ヤンゴン、カイロ

事業分野:農業開発、水資源開発、経済・社会開発に 関わる企画、施工管理、運営指導、環境ア セスメント、組織強化、人材育成支援など

募集職種:開発コンサルタント(土木、農業土木、給水 下水、衛生工学、地下水、地質、経済、農業 経済、農業、社会学)、営業職(ODA事業に 関する新規案件形成、プロポーザル作成、契 約管理、業務執行支援、出入金管理など)

募集人数:若干名

住 所:〒461-0002 愛知県名古屋市東区 代官町35-16 (本社) 〒170-0004 東京都豊島区 北大塚1-13-17(海外事業本部) T e I:052-933-7801(本社)

03-5394-8991(海外事業本部)

M a i I: m-ovs-eigyo@sanyu-con.co.jp P: https://sanyu-con.jp/



農業・水資源コンサルタン ある資源

、サルタンツだ。日本の62年に創設された。 る農業・ 水資源コ П た企業が ジ 日本を 0 ーンサル ルた三祐 エ 借款に かけに ク

開発援助政策や経済格差対策 寄与」を経営理念に掲げ 暑び」を具現化するため、 海外事業では主に政 企業理念「祐の 上で実績を積んでい ング企業として、 「社会・人類の発展へ Ā エネ を中心とした が 3 心 ルギ 祐け 以府開発 る。 カ へりの安 \mathcal{O} 四つ

国際協力の の新規案件形成や契約管理な (プロジ かな国づ 力の チャンスもある。 文系出身者も 生活を支える 研修などを経 ·ロジェク ・ サ やり の基盤整備 農業土木の める点も 開発協力 ちから海 ル イク が る 0) 構造 が仕事 ĵν

文系出身者も広く活躍求められる技術職

0)

International Cooperation Career Guidebook

国際協力キャリアガイド 2020-2021